



第754号《改題18号》
 2024年7月1日発行
 発行人 (一社) 滋賀県労働者福祉協議会
 専務理事 山本 俊夫
 〒520-0806
 大津市打出浜2-1 コラボしが21 6階
 電話 077-524-6290
 F A X 077-523-4070
 URL <https://s-rofuku.com/>
 E-mail shiga629@aioros.ocn.ne.jp
 印刷所 ユメディア株式会社

滋賀県労福協第68回定期総会を開催

『貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働き暮らせる持続可能な社会』をめざして



5月27日(月)、コラボしが21「大会議室」にて、(一社) 滋賀県労働者福祉協議会『第68回(第16期)定期総会』を開催しました。総会には16名の代議員全員が出席され、それぞれの会員団体から傍聴人も集う中、各議案の審議がなされました。また、三日月 大造 滋賀県知事の代理として滋賀県労働雇用政策課 菊池 克博 課長、あしたば会 小竹 富雄 会長、退職者連合 増田 勝治 会長がご臨席いただき、これからの労福協の活動に激励の言葉を述べてくださいました。

総会冒頭、白木 宏司 会長より、働く人々の環境は大きく変化し、リモートワークの普及や多様な働き方が求められ、労働者一人ひとりのニーズに応じた支援が重要となっている。また、物価高や円安、人材不足という深刻な課題に対応するためには、労働者福祉の観点から多角的なアプローチが必要であり、地域社会との連携を強化し、地域全体で問題を解決するための取り組みを推進していきたい、と挨拶されました。

議事は、彦根地区労福協の千秋 章造 代議員(彦根地区労福協会長)が議長に選出され、進行されました。

まず、第1号議案「2023年度活動報告」を奥田事務局長より、第2号議案「2023年度会計報告」を山本専務理事、「会計監査報告」を伴監事が行い、拍手多数により第1号議案・第2号議案は可決承認されました。活動報告では、『福祉は一つ』という理念をあらためて共有し、それぞれの地域におけるネットワークを築くことを目標に活動したことや、びわ湖クリーンキャンペーンでの「海

と日本PROJECT」とのコラボ、滋賀県勤労者美術展における大学生の出展許可、滋賀県社会福祉協議会やフードバンクとのつながりを強化することができたフードドライブ事業等、「つなぐ」・「つながる」を意識して取り組んだ内容が報告されました。

続いて、第3号議案の「2024年度活動方針」と第4号議案の「2024年度予算」について山本専務理事より報告され、拍手多数にて確認されました。第5号議案では、労福協役員(理事・監事)の任期を変更する定款改定について、また第6号議案の役員報酬総額について、ともに奥田事務局長より提案され、満場一致で承認されました。

社会における貧困の進行や格差の拡大、社会的孤立の広がりが深刻となる中、2024年度は、以下4つを活動の基調として、「生活の場」である地域活動を強化していくことを目指した活動に取り組んでまいります。

<2024年度活動の基調>

- * 地域での活動、社会的課題、ライフサポートの取り組みの推進
- * 発信力の強化による社会的に広がりを持った活動の推進
- * 今後を見据えた労福協の運動・組織・人事・財政のあり方の検討
- * 70周年記念事業の実施に向けた対応

<第68回(16期)定期総会スローガン>

- ★ 地域の様々なネットワークで、支え合い助け合う地域共生社会を実現しよう!
- ★ 「つなぐ」役割と「つながる」運動を強化し、誰一人取り残さない社会を実現しよう!
- ★ 平和が守られ、誰もが安心して働き暮らせる持続可能な社会を実現しよう!
- ★ 労働運動と労働者福祉事業の「ともに運動する」関係を強化し、共助の輪を広げよう!



(一社) 滋賀県労働者福祉協議会

第95回滋賀県労働者統一メーデー ～県内4か所にて同時開催!!～

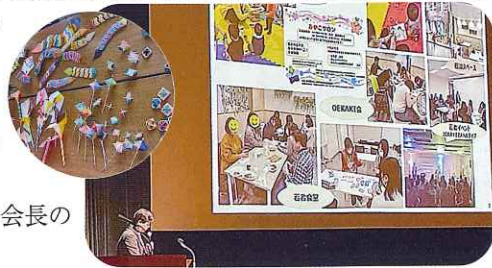
4月27日(土)、県下4会場にて、連合滋賀と滋賀県労福協の共催で「連帯の力で、平和と人権を守り、誰もが安心して暮らせる新たなステージへ!被災地の復旧・復興に向けて、みんなで支え合い、助けよう!」をスローガンのもと、『第95回滋賀県労働者統一メーデー』を開催し、計3,100名(第1区700名、第2区(中央)700名、第3区900名、第4区800名)の方が来場されました。



中央集会は第2区(湖北・彦根)地区集会と合同で『ひこね市文化プラザ』にて式典を行いました。

第1部の式典冒頭では、白木宏司メーデー実行委員長(滋賀県労福協・連合滋賀 会長)より「石川能登半島地震の復興途上にある被災地に思いを寄せ、決して風化させることなく、息の長い支援を続けていく必要がある。地震や気候変動が進み、自然災害が世界で多発するこのような時代に、分断や格差、災害を乗り越えていかに命を輝かせていくかが重要である。メーデースローガンに込めた思いを、我々労働者が今日的課題として共有し発信していきたい」と力強く述べられました。

また、三日月大造 滋賀県知事代理の大杉住子 滋賀県副知事をはじめ多くの来賓の方々よりご祝辞を賜り、式典に花を添えていただきました。最後に、メーデー宣言文が採択され、ガンバロー三唱で士気を高めた後、湖北地域労福協 池田晃仁 会長の挨拶にて式典を閉会しました。



第2部では、(社福) 滋賀県社会福祉協議会 事務局次長 高橋宏和様より「COZY TOWNの活動事例について」と題した講演をいただきました。講演会場の外では、「NPO 法人レイカディアえにしの会」の皆様が、折り紙とバルーンアートを用意くださり、多くの子どもの楽しそうな声が響いていました。

また、中央会場他、地区会場となった「膳所城跡公園」「栗東芸術文化会館さくら」「あいこうか市民ホール」の県下4会場では、統一行動として「フードドライブ」「能登半島震災支援募金&お菓子で応援(復興応援として、石川県で製造されているお菓子を購入しご来場の子どもたちに配布しました)」を実施しました。県下4か所で提供いただいた食料品は、各市町の社協やフードバンクへなどに贈呈しています。そして、ご協力いただきました「令和6年能登半島地震災害支援募金計72,182円(振込手数料含む)は、5月22日(水)日本赤十字社 滋賀県支部様へ全額寄付をさせていただきました。

様々な形でご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。



～第95回滋賀県労働者統一メーデー 地区集会の様子～



能登半島地震災害ボランティア行動に参加しました! ～「令和6年能登半島地震」の被災地を支援～

2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震からちょうど半年が経過しました。未だ避難を余儀なくされているご家庭や、浄水場や排水管の復旧に時間を要している地域もあります。

滋賀県災害ボランティアセンター運営協議会委員を担う滋賀県労福協では、2024年4月13日から14日、および同月20日から21日に、石川県七尾市での災害ボランティア活動に計10名が参加しました。

1週目は、被災家屋の瓦や木材、その他被災廃棄物を運搬車に積み込むという被災廃棄物の運搬補助業務でした。重機が入ることができず、被災した状況のまま家屋が放置されている現場や、支援が行き届いていない現状を目の当たりにし、罹災証明の発行数に比してボランティアの助けを希望される件数は思いのほか少なく、『助けて』と言えない風潮になってしまっているのではないかと感じました。2週目はあいにくの雨天ということもあり、ポスティングやヒヤリング等、取り残された地域や世帯はないか確認するとともに、七尾市災害ボランティアセンターが実施される支援ニーズ調査に帯同し、計72世帯を家庭訪問させていただきました。今回の現地におけるボランティア活動の中で、被災者の方の心境を考えながら、自分事として活動に参加することの大切さ学びました。今後の活動に取り入れていきたいと思ひます。

TOPIC 3 2023年度生活応援セミナー ～満員御礼！『終活』をテーマにセミナーを実施しました～

2023年度の生活応援セミナーは、ご高齢の方が明るく前向きに終活に取り組むことで、自分の残りの人生をより自分らしく充実させることができるよう、また、その後に遺される人や身の回りの準備をすることを目的に、3月7日(木)シライシアター野洲(野洲文化ホール)「小ホール」にて『終活』をテーマとして実施しました。



大変多くの方に興味を持っていただき、大盛況となった本年度のセミナーは、落語家：桂雀喜さんに『終活』をテーマにした創作落語を2本、労福協の顧問司法書士の羽田慎二先生からは、専門家の立場よりエンディングノートの書き方アドバイスをいただきました。会場には、「あしたば会」の会員27名を含めた計70名の方が参加くださいました。

1時間30分という限られた時間ではありましたが、会場には大きな笑いも起こりながら大変実りのあるセミナーとなりました。参加いただいた方からは、「大変参考になった、時間が短すぎたのでまたゆっくり学べる機会を設けてほしい」、「もっとゆっくり聞きたかった」等、多くのお声が届いています。なかなか『終活』と聞くと、悲しいイメージをもちがちですが、大切な方を困らせないため、今回の落語のように『終活』を前向きに捉え準備することが大切なのかな、と思います。



滋賀県労福協では、今後も、私たちの生活をとりまく内容に焦点をあてた『生活応援セミナー』を実施してまいりますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

TOPIC 4 2023年度労働福祉事業団体OB会「あしたば会」会員研修会・交流会 ～26名が元気に集いました～

2024年3月7日(木)に、あしたば会2023年度「会員研修会」「交流会」を実施しました。「あしたば会」は、滋賀県労福協が事務局を担う、労働福祉事業団体役員OBの方の集まりで、労働福祉事業の発展と会員相互の親睦を目的に活動されています。



当日は、滋賀県労福協が主催した「生活応援セミナー」への参加を研修会とし、仲間とともに『終活』について学びを深めました。研修会後は、野洲市内「季節料理 佐兵衛」にて交流会を実施しました。事務局含め26名が参加した交流会では、9月13日に実施した総会から約半年ぶりに仲間が集い、また、久しぶりに出会う仲間もおられ、多くの笑いに包まれ大変盛り上がった交流会となりました。



2024年度の総会で元気に再会できることを約束され、会員研修会・交流会を終了しました。

TOPIC 1 近畿労働金庫滋賀地区本部

滋賀地区各支店で推進委員会全体会議を開催しました!! ～「生活応援運動2024」の推進を全体で確認～



2024年度の推進委員会全体会議が各支店で開催され、2023年度の業務概況報告及び第26回通常総会予定議案、2024年度事業計画等について論議いただきました。

2024年度は第9次中期経営計画の初年度であり、「会員との深いつながり」を何よりも大切に、「誰もがアクセスできる金融」を基本方針に掲げ、会員・はたらく人びと・地域社会から必要とされる存在であり続けるため『生活応援運動の拡大』と『金融DXへの挑戦』を重点取組みとして「助け合いの金融」を実践していくことを確認いただきました。



また、2024年度事業計画では『生活応援運動2024』の取組みとして会員推進機構とともに「金融教育」の取組みを展開してまいります。さらなるご協力、ご支援とご理解をいただきますようお願いいたします。

♪ 7月1日は なんの日♪

【国民安全の日】
1960年5月の閣議で、産業災害・交通事故・火災等の災害の発生の防止を図るために制定されました。「国民安全の日」は、全国安全週間の初日です。暑さで気の弛みから事故が多発する夏場の一日が選ばれたそうです。

「国民安全の日」をきっかけに、ご家庭内でもお子様の通学路の安全を確かめたり、家の防犯・防災状況を見直したりと、身の回りの災害に対する安全意識を深めていきましょう!

令和6年 **夏** の交通安全県民運動

実施期間: 令和6年7月15日(月)～7月24日(水)

運動の重点:

- ①子どもを始めとする歩行者の安全の確保
- ②自転車・特定小型原動機付自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
- ③飲酒運転・妨害運転等の危険運転の根絶
- ④横断歩道利用者ファースト運動の推進

TOPIC 2 こくみん共済 coop <全労済> 滋賀推進本部

～7才の交通安全プロジェクト 横断旗寄贈のご報告～



『未来ある子どもたちを交通事故から守りたい』

こくみん共済 coop では、そんな想いから、子どもたちを事故から守っていく「7才の交通安全プロジェクト」をスタートし、そのプロジェクトの一環として、マイカー共済のお見積もり1件につき横断旗1本を寄贈する取り組みを行っています。

こくみん共済 coop 滋賀推進本部でも継続的に横断旗を寄贈しており、2024年5月15日（水）には、新たに滋賀県警察本部へ3,000本の横断旗の寄贈を行いました。これらの横断旗は、県内各地区の交通安全協会などの活動をつうじて、子どもたちを交通事故から守ることにお役立ていただきます。

こくみん共済 coop では、「もしも」のときの保障の提供だけでなく、「もしも」を未然に防ぐための活動も実施しています。交通事故のない安全な社会をめざす「7才の交通安全プロジェクト」もその一つです。

今後も安心安全な社会づくりのために、皆さまとともに取り組んでまいります。これまでのご協力に心より感謝申し上げますとともに、今後ともぜひご協力をよろしくお願いいたします。

TOPIC 3 滋賀県勤労者住宅生活協同組合

～「首都圏外郭放水路」研修に参加しました～



2024年4月29日～30日、住宅生協等全国協議会第3期会議及び研修会が開催されました。研修会では、春日部市に所在する「首都圏外郭放水路」を訪れ地域にとって重要な「防災地下神殿」と呼ばれる施設を見学しました。首都圏外郭放水路は、慢性的な浸水地帯である埼玉県東部地域の浸水被害を軽減することを目的に建設された、地下50メートル、延長約6.3キロメートルの地下水路で5つの河川を結び、洪水となる前に河川の水を移動させ江戸川へ排水する施設です。見学した調圧水槽の空間は、荘厳さを秘めた世界最大級となる貯水施設規模と圧倒的な迫力に「地下神殿」と呼ばれる所以を理解できました。この地下神殿は、毎年7回程度は洪水を安全に処理することで、周辺地域の浸水被害を防いでいるそうです。案内員より能力の説明を聞き自然災害の恐怖を再確認したと同時に、防災意識が向上した研修会となりました。

～立命館大学「学生団体 clown」と連携で地域貢献～

住宅生協が支援を行っている、学生団体 clown による10期目となるツリーハウスが近江八幡市ヴォーリズの森に完成しました。3月17日には途中、小雨の降る中、地域の方々や多くの子どもたちが参加して交流イベントが開催されました。このツリーハウスは、大和言葉の「叶和す」と永遠の「とは」を掛け合わせた「叶和（とわ）」と名付けられ、新たな地域交流の場所となりました。

住宅生協は、今後も様々な角度から地域貢献の支援を進めてまいります。



TOPIC 4 滋賀県生活協同組合連合会

～NPO 法人消費者ネット・しが第14回通常総会開催・全3議案を可決～

5月25日（土）、滋賀県弁護士会館に於いて、第15回通常総会を開催し事業報告、活動方針、収支計画・予算、役員選任など、議案すべてを賛成多数で可決しました。

役員改選後、第14期第1回理事会では、理事長に伊藤慧氏（再任・弁護士）、副理事長には市村あつ氏（再任・消費生活相談員）、松林慧氏（再任・弁護士）が再任され、理事8名、監事2名で新体制がスタートしました

「どこに行っている、私のお金？」消費者月間セミナーを開催

5月25日（土）、大津市の弁護士会館で費者月間（5月）として、「どこに行っている、私のお金」をテーマに、世界を巡るお金の流れと私たちの選択についての映画上映とNPO法人アジア太平洋資料センターの田中滋さんによる学習講演を開催しました。私たちが金融機関に預けたお金が、周りに回って児童労働や環境破壊につながる企業への投資につながっていることがあります。「フェアトレード商品を選択して購入など、意識していましたがどの金融機関にお金を預けるかまで意識なく、今までにない新しい視点での問題提起を頂いた」との声が多くありました。



一人ひとりの選択や行動は小さいものですが、関心を持ち、同じ想いを持つものが協同して声を上げていく必要があることで、その一旦を担えるのが消費者ネットしがの役割でもあると再認識させられました。

TOPIC 5

びわ湖クリーンキャンペーン 50周年事業 50周年を記念して、地域の皆さまと一緒に盛り上げます!!

滋賀県労福協では、びわ湖一斉清掃活動を「びわ湖を美しくする運動」として各地区労福協を中心に現在まで継続しており、1974年の第1回開催から2024年で50年を迎える事となります。びわこクリーンキャンペーンの名のもと、『～みんなで守ろう!! かがやくびわ湖～』を合言葉に全県下で活動を展開してきました。全県下を網羅した清掃活動は、びわ湖を守る、そして美しいびわ湖や環境を次世代に引き継ぐ運動の一つとして重要な取り組みであり、現在滋賀県が取り組む「マザーレイクゴールズ(MLGs)」の趣旨に重なる活動となっています。

今年度は「びわこクリーンキャンペーン 50周年事業」として、一斉清掃に加え環境問題に焦点をあてた学習会等の取り組みも実施し、また、これまで以上に地域の皆さまや多様な団体の皆さまと連携することにより、社会的広がりを持った活動を推進していく契機としたいと考えています。

組合員の皆さま、そして地域の皆さまが一人でも多く参加いただき、環境美化の輪を広げることができるよう取り組んでまいりますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

「びわこクリーンキャンペーン 50周年事業」の詳細は、以下のとおりです。

【びわこクリーンキャンペーン 50周年事業】概要

● 子ども文化教室の開催

7月30日(火)、県内小学生を対象に、環境学習船「megumi」に乗船し、環境のことやびわ湖について学びます!

● びわ湖一斉清掃の実施

9月21日(土)を軸に、県下一斉清掃に取り組みます。本年度も「海と日本プロジェクト」にも登録し、地域の皆さまと一緒に活動します!

● その他環境に焦点をあてた研修会の実施

詳細決定後、お知らせします。

夏休み子ども文化教室

参加費 無料 ~環境学習船「megumi」で学ぶ「びわ湖のことをもっと知ろう!」

草津烏丸半島発着～和邇沖

7/30(火) 13:30～15:30 (受付13:00)

- びわ湖の水を調べる 滋賀県立大学「近江楽座」
● びわ湖の歴史・文化 廃棄物バスターズさん協力
● マイクロプラスチックとは...

定員 25組 50名
※県内の小学生(保護者同伴)
※応募多数の場合は抽選

お申込みは...
QRコードより必要事項を入力し送信してください
7/1(日)10:00～7/5(金)13:00まで



TOPIC 6

第69回滋賀県勤労者美術展 2024年度も「滋賀県立美術館」にて開催します!

皆さまのご協力のもと、『第69回滋賀県勤労者美術展』を開催いたします。本年度も昨年度に続き、滋賀県立美術館「ギャラリー」での実施となります。会期は7月23日(火)～7月28日(日)です。

本年度は、展覧会場内の写真撮影を許可する他、審査委員の先生方による『講評会』も開放します。また、昨年度からは応募資格も大学生まで広げ、より多くの方に楽しんでいただける内容となっております。

夏休みのひととき、ゆっくりと芸術に触れながら過ごされるのもよいのではないのでしょうか。是非!ご家族やお知り合いと一緒ににお出かけください。皆さまのご来場をお待ちしております!

なお、ご出展いただきました作品の審査結果は、7月16日(火)の15:00に滋賀県労福協ホームページにて発表いたします。こちらもお楽しみに!

第69回滋賀県勤労者美術展

Shiga Worker's Fine Art Exhibition

会期:2024年 7月23日(火)～28日(日)

*7月23日(火)～27日(土) 9:30～17:00

*7月28日(日) 9:30～15:30

※最終入場は、閉館時間の30分前となります

会場:滋賀県立美術館「ギャラリー」

部門:書道の部・写真の部・絵画の部・工芸手芸の部

講評会

日時:2024年7月28日(日)

12:00～13:00 【写真の部】【絵画の部】

14:30～15:30 【書道の部】【工芸手芸の部】

会場:滋賀県立美術館「ギャラリー」

美術展の観覧はもちろん!

講評会・表彰式もご自由に参加いただけます。(ただし、席に限りがあるため表彰者優先となります)

表彰式

日時:2024年7月28日(日) 13:30～14:10(受付13:10より)

会場:滋賀県立美術館「木のホール」



皆さまのご来場お待ちしております!

TOPIC 7

国スポ障スポ2025に参画します! 滋賀県開催となる「第79回スポーツ大会」にボランティアとして参加します

滋賀県労福協では、2025年度に滋賀県で開催される『わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ2025』へ100名のボランティア登録をしています!地区労福協をはじめとする会員団体所属の皆さまと一緒に、大会の開会式・閉会式のお手伝いをさせていただく予定です。スポーツを通じての感動を地域を越えて拡げることができれば嬉しいです。滋賀県労福協は、2026年度に設立70周年を迎えます。労福協では皆さまと一緒に地域や多様な団体様とつながりを深め、様々な活動に取り組んでまいりますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

お知らせ

滋賀県労福協でもIT化の推進に伴い、2024年4月19日付、機関紙「豊かなくらし」の発送部数について調査をさせていただきましたが、今回発送いたします2024年夏号(2024年7月1日発行)より、PDF版を基本とし、紙媒体での機関紙は事業所内供覧や掲示いただける必要最低枚部数の発送に変更させていただきます。

なお、組織(職場)の状況等により従来どおりの部数の発送をご希望の場合には、滋賀県労福協まで、メールもしくは電話・FAXにてご連絡を頂きますようお願いいたします。今後も引き続きよりご覧いただきやすく、親しみのある機関紙を作成するとともに、時代に即した機関紙として継続発行してまいりますので、皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

はたらくみんなを全力応援!
近畿ろうきん

WEBで完結!

さらに進化して自由度アップ!

気軽に申込みできて、何にでも使える!

ライフエール

ろうきん 無担保ローン

家電・パソコンなどの買替えや、日々の生活費、旅行の費用など **お使いみちは自由!**

お申込みは **こちらから!**




こくみん共済 NEWS
2524W001

たすけあいの
輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉
coop

全国労働者共済生活協同組合連合会

滋賀推進本部
(滋賀県勤労者共済生活協同組合)

- 共済ショップ大津店
- 共済ショップ彦根店

**土地・建物に関する
あらゆるご相談をお受けします。**
お気軽にお問合せください。

- リフォーム
- 売りたい
- 買いたい
- 相続・税金

etc.



滋賀県住宅生協 077-524-2800

まなびあい・つながりあい・つたえあい、びわ湖をたいせつにして
誰もが平和で安心してくらせる社会の実現をめざします。

滋賀県生活協同組合連合会

- ◆生活協同組合コープしが
- ◆生活クラブ生活協同組合
- ◆グリーンコープ
- しがまる生活協同組合
- ◆滋賀県勤労者共済生活協同組合
- ◆滋賀大学生生活協同組合
- ◆滋賀県立大学生生活協同組合
- ◆滋賀医科大学生活協同組合
- ◆しが健康医療生活協同組合
- ◆滋賀県職員生活協同組合
- ◆滋賀県勤労者住宅生活協同組合

賛助会員

- ◆生活協同組合コープ自然派京都
- ◆立命館生活協同組合
- ◆龍谷大学生生活協同組合
- ◆ワーカーズコープ

センター事業団滋賀事業本部

◆会員団体 一覧◆

日本労働組合総連合会滋賀県連合会
近畿労働金庫滋賀地区本部
こくみん共済coop滋賀推進本部
滋賀県勤労者住宅生活協同組合
滋賀県生活協同組合連合会
ユメディア株式会社

株式会社セイキョーホーム
大津地区労働者福祉協議会
草津栗東地区労働者福祉協議会
守山野洲地区労働者福祉協議会
湖南甲賀地区労働者福祉協議会

近江八幡地方労働者福祉協議会
東近江労働者福祉協議会
彦根地区労働者福祉協議会
湖北地域労働者福祉協議会
高島労働者福祉協議会

◆(一社) 滋賀県労働福祉協議会 役員一覧◆

会 長 白木 宏司
副 会 長 白崎 直樹
副 会 長 松元 光彦
副 会 長 北村 賢太郎
専務理事 山本 俊夫

事務局 長 奥田 修
理 事 大西 省三
理 事 池内 正博
理 事 清原 勝
理 事 川瀬 美智子

理 事 村田 浩幸
理 事 森井 徹
理 事 救仁郷 節夫
監 事 南園 晴司
監 事 伴 幸士

◆くらしサポートセンターしが地区センター 所長一覧◆

大津 伴 幸士 彦根 川端 隆幸 草津 小栗 博明 近江八幡 平塚 雄二

(一社) 滋賀県労働者福祉協議会 〒520-0806 大津市打出浜2番1号 コラボしが216階
URL <https://www.s-rofuku.com/> TEL077-524-6290 FAX077-523-4070



滋賀県労福協 Instagramです! フォローお願いします(^^)/



ROFUKU_SHIGA